



昨年10月、多くの皆様方のご支援を頂き、南魚沼市議会に送り出して頂きました。お陰様で1年間、4回の議会を経験させて頂きました。一般質問も4回全てに機会を与えて頂きました。まだまだ皆様方のご期待にお応えする働きには及びませんが、これからも市民の想いに寄り添い、市民の声を聴き、市の発展と住民福祉の向上に努めて参る決意でございます。今後とも宜しくお願い致します。9月定例会は、9月3日から21日までの14日間で行われました。南魚沼市議会議員 目黒哲也は、一般質問を行い皆様のお声を市政にお届けいたしました。◎質問と答弁は以下の通りです。

## 質問 ハザードマップと洪水時の避難に関する現状と課題について

この度の西日本を中心とする大規模な水害が発生したことから、改めて被災想定区域を示し、避難に役立てるハザードマップに注目が集まっております。

国土地理院は7月10日、地域の約3割が浸水した岡山県倉敷市真備町地区を中心としたエリアの浸水推定段彩図を公表しました。これは、映像などの情報をもとに、どの場所が何メートル浸水したのかを示したのですが、実際に浸水したエリアと、同地区のハザードマップ(2016年作成)における浸水予想エリアはほぼ一致しておりました。すべての地域で正確に予想できるのかは分かりませんが、ハザードマップによる予想は実際の被害状況と近いと言えるでしょう。自分が住んでいる地域のハザードマップで、リスクがどのくらい高いのかを確認しておくことは、重要であり、災害対策の第一歩と言えます。そこで以下の3点について市長にお伺いいたします。

### ● 質問の視点と要旨

水害ハザードマップは、住民等が自ら水害の危険性や避難の方法を理解し、適切な避難行動をとるよう促すことによって、人的被害の軽減を図るためのものです。しかしながら、水害に対する理解促進のためには、水害ハザードマップの配布や公表だけの一過性で終わらないよう、水害ハザードマップを住民等が自ら活用して個々人の避難計画を検討するなど、水害ハザードマップを行政と住民等とのリスクコミュニケーションツールとして活用していくことが有効であると考えます。そこでハザードマップの市民への周知度は、実際のどのくらいと認識しているのか。またハザードマップの活用への取り組みはしているのかを伺います。

**市長** 南魚沼市では、平成27年に土砂災害ハザードマップ、平成22年に洪水ハザードマップを作成し、また新潟県土木道路課より、魚野川・三国川・水無川に係る洪水ハザードマップを平成23年に作成し、道路冠水想定箇所を公表しています。作成しましたハザードマップは災害の対象となる行政区に配布し、地域説明会を開催しました。また市のホームページでもハザードマップは掲載しています。しかし周知度は時間も経過してきているので低くなっていると感じています。活用については、行政区長を通して防災訓練時に活用するようお願いしています。

**目黒** 損害保険ジャパン日本興亜が全国の約1,000人に実施した調査では自宅付近の水害ハザードマップを、「見たことがない」という回答が48%を占め、見ているも「水害リスクの確認はしていない」という人も25%であるそうです。そこで配布先・頻度・周知方法が重要であると考えます。全世帯に配布してはどうか。転入者に配布しているか。また説明会、講習会等を定期的に開催してはどうかを伺います。

**市長** 現在、新たなハザードマップを作成する予定です。新たなハザードマップは全戸に配布する予定です。説明会や講習会は重要と考えておりますので、配布時には地域説明会を開催する予定です。防災座談会や市民ふれあい講座等での講習会を開催し重要性や活用性を周知していきたい。

**目黒** 十分な対策を講じていても、住民等がその内容を十分に理解し、水害時に適時・確かな避難行動をとれるようになることは難しいのが現状であります。このため、水害ハザードマップの配布やインターネットによる公表のみにとどまらず、説明会やイベント等の機会を利用した周知、住民自らが避難計画を考えるワークショップ、防災教育・学習、防災訓練等での利活用等の取組を積極的に行う必要があると考えます。

### ● 質問の視点と要旨

近年の水害により、人的被害を被ったケースの多くは、避難行動中や移動中など屋外において被災していることが分かっております。

ハザードマップを活用することにより、災害発生時に住民は迅速かつ確に避難をすることができ、二次災害が発生する可能性のある場所を避けて避難することができるために、災害による被害を小さくすることができるようになることは難しいのが現状であります。現在の南魚沼市のハザードマップは、実際に利用者(市民)目線に立ったものになっているかを伺います。

**市長** 現在のハザードマップは、国土交通省のガイドラインに沿った内容で作成したものであります。よって必要最低限の内容であり、地域特性や個別事情等は盛り込まれていません。よってこの度、南魚沼市総合防災ハザードマップを作成するものであります。

**目黒** 住民からみたマップの役立ち度を向上させるためには、「見やすさ」、「持ち出しやすさ」が重要であると思えます。情報が多過ぎていたり、専門的過ぎていないか。そのために内容が分かりにくかったり、見にくかったりしないか。使いにくいために仕舞い込まれて忘れられてはいないか等々の課題があるかと思えます。そのために例えばポスター形式のマップを家庭の壁などに掲示出来る適度な大きさにして配布したり、手帳、パンフレットなどの携帯性のあるマップ作成等を検討してはどうか伺います。

**市長** 今後検討に加えていきたいと考えております。

**目黒** ハザードマップに基づいた想定浸水深、水位の高さ、避難場所等を街中に表示板等で示すことによって子どもから高齢者まで分かり易く、更に防災意識高揚につながると考えますが検討してはどうか伺います。

**市長** 現在は検討してはおりませんが、将来に向けて移住者や観光客のためにも今後検討を加えていきたいと考えております。

**目黒** 各小・中学校において通学路のハザードマップは作成してあるのか伺います。

**教育長** 通学路の交通ハザードマップは作成してありますが、防災については作成していません。

### ● 質問の視点と要旨

西日本を中心とした豪雨では、広島市で最大で46万人余りに避難指示や避難勧告などが出されましたが、実際に避難所に避難した人は2.03%にとどまったそうです。

また8月28日には新潟県内では停滞する前線と低気圧の影響で、広い範囲で大雨となり、上越市と魚沼市には土砂災害警戒情報が出て、2つの市でおよそ2万4700世帯、6万2900人余りに、自治体が速やかに避難するよう呼びかける避難勧告が出されました。

このうち、1,100人を対象に避難勧告が出された魚沼市では、市が設けた避難所に実際に避難した人は1人もいなかったことがわかりました。

また、6万1,813人を対象に避難勧告が出された上越市では、実際に避難した人は584人で、その割合は0.94%にとどまりました。

この28日の大雨で魚沼市や上越市では人的な被害はなかったものの、避難の在り方に課題を残し、2つの市は避難の呼びかけ方法について改善を検討する必要があると報道されておりました。

そこで想定最大規模の水害を踏まえた避難方法のガイドラインはあるのかを伺います。

**市長** 想定災害規模におけるガイドラインは国も県も現在ありません。市においては、一般的な避難勧告は内閣府で、土砂災害においては国土交通省の定めるところに基づいてあります。よって地域特性等は考慮されていないので今後考えていきたい。

**目黒** 西日本豪雨では死者の6割超を60歳以上が占めておりました。西日本豪雨で自治体から避難勧告・指示が出された広島、岡山、愛媛3県の60歳以上の住民のうち、約97%が自宅などにとどまっていたとする調査結果をNPO法人CEMI環境・防災研究所(東京)がまとめました。また調査によると、「避難することは考えなかった」とする回答も39歳以下が18.0%だったのに対して60歳以上は40.1%上がった。「その場にいる」住民のうち、2階など安全な場所へ移動する「垂直避難」をした割合も60歳以上は11.3%にとどまり、39歳以下を約17%下回っておりました。また今後避難勧告などが発令された場合に「避難しない(難しい)」と回答した住民に理由を聞いたところ60歳以上の51.3%が「災害の危険性がないところに住んでいるから」と回答し、39歳以下の22.4%を大きく上回りました。

この結果を踏まえて、高齢者の避難について検討はしているのか伺います。

**市長** 避難勧告よりも日ごろから接している地域の方々の声掛けが一番大事であります。そういう意味でも自主防災組織は重要になってきます。

**目黒** 高齢者はスマートフォンやネットからの情報が少ないので現在の災害状況がつかめていないものと考えます。また経験を過信し、今まで被害がないから今回も大丈夫と考えてしまいがちであります。意識を変えなければ西日本豪雨と同じ被害を招きかねない危機を感じます。また移動手段を持たず、体も不自由なために速くの避難所へ行けない高齢者も多いと思われます。地域でお年寄りや災害の危険について話し合い、事前に支援方法を決めておくことで在宅被災を減らすことになると考えます。

**市長** 高齢者や独り住まい、要介護者等の情報を行政区長と共有し、連携していきたいと考えております。災害では自助・共助・公助が大事ですが、地域での共助の重要性を周知していきたい。

**目黒** 市立病院においての患者への対応と被災者救急対応や停電での対策はしてあるのか伺います。

**市長** 防災訓練は、大きな災害も想定し、徹底して行っています。

**目黒** 西日本の豪雨被害や北海道胆振東部地震は対岸の火事ではなく、南魚沼市でも起こりうること。市民と情報共有を進め、住民への情報の提供や発信のあり方など、より円滑に避難できる方策を考え、市民の安心安全に取り組んでいって頂けることを切に要望します。

## 質問 結婚支援について

### ● 質問の視点と要旨

現在、我が市が抱える大きな課題のひとつが、「人口減少」である。若者、とりわけ若い女性が流出する社会移動により、出生数が下がるという社会減少と自然減少の「ダブルの人口減少」によって、人口減少のスピードが増して来ており、事態は極めて深刻であると言えます。

そのために南魚沼市では、人口減少、雇用対策、定住促進といった地域社会の課題に一体的に取り組み、市の将来像である「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」を実現するため、「南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、展開をしているところであります。

その中で目指す姿として、出生数の確保と20代後半以降の若い世代や子育て世代の転出の抑制と20代前半の就職期の転入と年代を問わない東京圏からの転入を拡大するとあり、また将来の方向性として若い世代の就労、出産、子育ての希望がかなえ、将来を見据えて安心して子どもを育てられるまちをつくと掲げられて、結婚の希望を叶える支援を施策として打ち出しています。

そこで今後、定住促進や移住促進あるいは市民の幸せを拡げていくために未婚の方に対して出会いの場の提供や結婚相談等支援体制を構築していくことと合わせて結婚された方への新生活支援は重要と考えますが市長の考えを伺います。

**市長** 大変重要な課題であると考えております。現在、南魚沼市・湯沢町交流計画協議会として交流ミーティングパーティーを開催し出会いの場を提供しています。また県が行っている婚活事業であるハートマッチ新潟に取り組んでおります。未婚者が登録すると1対1のマッチングを行うものであります。

**目黒** 南魚沼市の総合戦略には、結婚の希望を叶える支援と若い世代の婚活を支援すると掲げられ、民間企業や市民団体等との連携により、若い世代の結婚意向を促すとともに、結婚に向けた出会いや恋愛を促し、「婚活」をサポートする体制づくりを推進しますと記されております。そこで連携はどのようにしているのか。体制づくりは出来ているのかを伺います。

**市長** 南魚沼市・湯沢町交流計画協議会が開催している交流ミーティングパーティーは民間の方々と行政が一緒になって企画開催しております。

**目黒** 果たしてこの施策で成果が上がると考えているのか。施策に対する真剣さや熱意があまり感じられないと思います。

2012年に南魚沼市が独自で実施したアンケートにおいて、男女とも結婚未経験者の6割が結婚を希望し、また6割が異性と知り合う機会が少ない、そして男性5割、女性4割が交際している異性はいないが、交際は望んでいると答えております。

そこで婚活イベントだけでなく、婚活イベントを活かすためにも民間企業や市民団体等との連携「婚活」をサポートする体制づくりとして「結婚支援を行う公的センターの設立」提案致します。自治体の婚活・結婚支援サービスは非営利事業なので、安心して参加できることが魅力です。市内の独身者の会員制で地域ボランティアの「婚活サポーター」によるお相手紹介や、「結婚マッチングシステム」によるお見合いサポート、グループマッチングなどや婚活・結婚に役立つワークショップ、スキルアップ研修、結婚相談を実施する婚活・結婚支援サービスを展開するセンター設立についての考えを伺います。

**市長** 現在、県内でセンターがあるのは、十日町市、小千谷市、妙高町の3か所だけあります。全てのセンターは在住、在勤の方が対象となっており、非常に範囲が狭く、エリアも限られてくるので、当市としては県のハートマッチ新潟の臨時サポートセンターを開設し展開していきたいと考えております。今年度は、魚沼市を会場に7月と10月の2回開設しました。

**目黒** 結婚応援企業・事業者を募り、各企業の独身者が集まってお互いの繋がりをつくる機会を創出し、応援企業・事業者には、子育て家庭を応援する様々なサービスを提供して頂く。例えば小学生以下の子どものいる家庭の方または、妊娠中の方が、協賛店・施設で登録証を見せると、入店の際のちょっとした心配りや、授乳室などの安心・便利な設備・備品の利用、お得な割引・優待など、子育てを応援するさまざまなサービスを受けられるような制度は、まち全体で子育てを見守るまちの雰囲気づくりや、子育てにやさしいまちまちという魅力づくりで、気運の醸成に取り組むことはどうか。市内の経済循環も期待できると思いますが考えを伺います。

**市長** 民間との連携は力を入れ、いい方向へ加速していきたいと考えております。

**目黒** アンケートの中で結婚への支援では「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」男性6割、女性5割が希望し、また「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」についても男性6割、女性4割が希望しています。

そこで結婚新生活支援として婚姻に伴う新規の住宅取得費用、婚姻に伴う新規の賃貸費用(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料)、婚姻に伴う引越費用を市で補助する考えはないか伺います。

**市長** 市の負担もあるので、導入は現在、難しいと考えております。

**目黒** それらの実費に対し、国では、一部を支援する(上限で30万円)を支援する「結婚新生活支援事業」を実施しています。この制度は、市町村は県に申請し、県が国に申請をあげて交付決定されるものであります。新潟県内で申請をあげた市町村は、平成30年度は、新潟市・新発田市・十日町市・佐渡市の4市だけあります。是非、この制度を利用し、市民に還元して頂きたく強く要望致します。

# 9月定例議会 平成29年度一般会計決算認定

## 決算額

**歳入 339億5,918万円** (前年度比 2億3,812万円減)  
**歳出 329億2,625万円** (前年度比 2億7,148万円減)

歳入 - 歳出 = **形式収支 10億3,292万円**

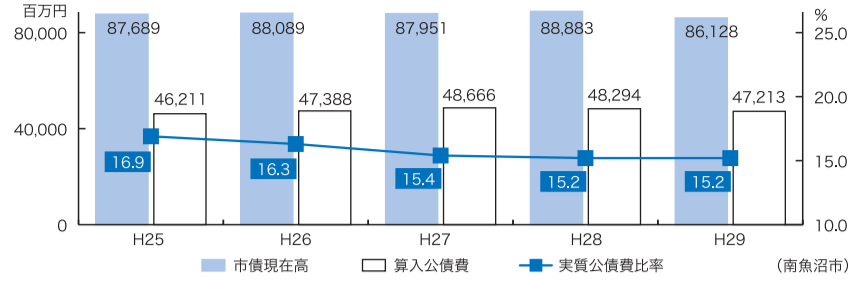
翌年度へ繰り越すべき財源(繰越額) **867万円**  
継続費通次繰越額 **2億2,604万円**  
繰越明許費繰越額

形式収支 - 繰越額 = **実質収支 7億9,821万円 黒字**  
(10億3,292万円) (867万円+2億2,604万円)

前年度実質収支 9億1,347万円 **比較すると** 単年度収支は、1億1,527万円の赤字

財政分析では、財政力指数は、0.420と経年でみるとわずかに低下傾向(図1参照)であるが、依然として自主財源に乏しい数値であります。経常収支比率は、概ね75%以内が妥当とされ、80%を超えると弾力性が失われつつあるとされています。当市では、前年度比0.3%増の95.0%(図2参照)であり、経常経費の節減に努める必要があります。実質公債費率は、15.2%と前年度同比率(図3参照)であります。県内においては最下位であります。(図4参照)

### 図3 市債現在高・算入公債費・実質公債費比率の推移



### 図4 (参考)平成28年度決算に基づく県内20市の財政指標

財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率
新潟市 0.743	妙高市 79.5	魚沼市 7.6
柏崎市 0.704	魚沼市 87.8	見附市 7.6
燕市 0.665	五泉市 87.9	新発田市 7.7
上越市 0.644	村上市 88.7	長岡市 7.7
長岡市 0.615	新発田市 89.7	小千谷市 8.6
三条市 0.604	佐渡市 89.7	妙高市 9.0
小千谷市 0.548	小千谷市 89.9	五泉市 10.1
見附市 0.527	燕市 90.9	新潟市 11.1
<b>市平均 0.494</b>	<b>阿賀野市 91.1</b>	<b>胎内市 11.2</b>
新発田市 0.493	<b>市平均 92.0</b>	<b>市平均 11.4</b>
胎内市 0.480	長岡市 92.7	燕市 12.0
五泉市 0.445	柏崎市 93.8	十日町市 12.3
妙高市 0.444	新潟市 94.4	加茂市 12.6
糸魚川市 0.441	<b>南魚沼市 94.7</b>	糸魚川市 12.9
<b>南魚沼市 0.427</b>	胎内市 94.8	上越市 13.0
加茂市 0.422	糸魚川市 95.0	佐渡市 13.4
阿賀野市 0.412	十日町市 95.2	阿賀野市 13.5
村上市 0.367	見附市 95.4	村上市 13.7
十日町市 0.355	三条市 95.6	柏崎市 14.4
魚沼市 0.295	上越市 95.6	三条市 14.6
佐渡市 0.242	加茂市 97.4	<b>南魚沼市 15.2</b>

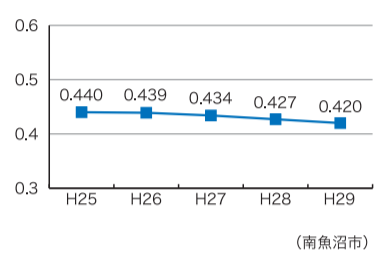
財政力指数  
当年度を含む3か年の平均値。標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する税収入の割合。数値が「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、税金など経常一般財源に占める、人件費や公債費などの義務的な支出の割合を表す。数値が高いほど財政の硬直性が高まっているとされる。

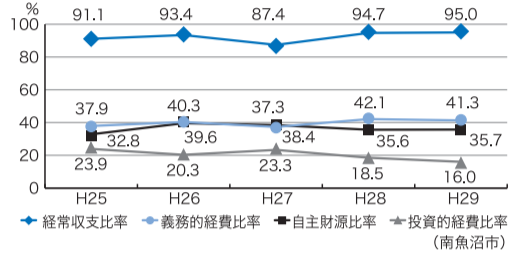
実質公債費率  
当年度を含む3か年の平均値。公債費がどの程度財政を圧迫しているかを示すもので、公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に占める割合。

(出典:新潟県ホームページ)

### 図1 財政力指数の推移



### 図2 財政比率の推移



## めぐりの目

南魚沼市においては、少子高齢化や社会減少と自然減少の「ダブルの人口減少」によって、人口減少のスピードが増してきているため、市税収入は減少してきています。反面、社会保障関係費等の支出は、年々増加してきており、上記財政分析の通り厳しい財政状況にあります。

更に市内の橋りょうも修繕時期を迎えようとしております。市内の橋りょう数は、579橋ございます。修繕計画では、補修費100年間で366億円。この内訳は、橋の架け替えに279億円、維持管理費が87億円です。よって1年間の架け替え・補修費はおよそ2億8千万円、維持管理費は約9,000万円が必要となります。

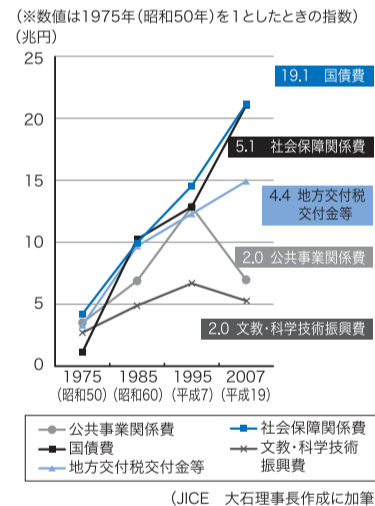
この現状において、これからの南魚沼市の発展は、キーワードのひとつとして、「観光」と「農業」の地域資源が切り札ではないかと前号に書かせて頂きました。

もうひとつとして、インフラ政策であります。筑波大学名誉教授・特命教授の石田東生氏の講演会と資料を引用し、考えてみたいと思います。

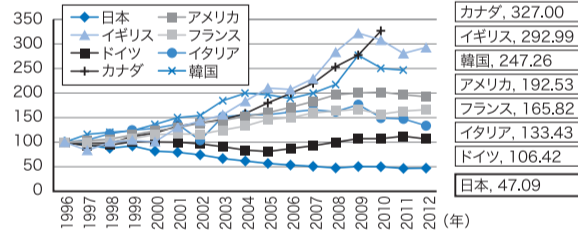
図5の国の一般会計歳出予算の経費別推移をご覧ください。社会保障関係費の急増に伴い、国債費が増加し、その結果として公共事業や教育関係の経費が削られてきています。まさに現世代の食いっつぶしが将来への投資にしろ寄せが来ていると言えるのではないでしょうか。

図6の主要先進国の公的資本形成(公共事業投資)の推移をみてお分かりの通り、この15年間で日本の投資額は半減していますが、先進国は増加傾向にあり、中でも英国では3倍、米国は2倍と公共投資を増やしてきました。その結果、図7の日本の1人当たりの名目GDPは、1995年においては世界で第3位でしたが、2015年には約30%減となり、世界24位と転落途上国となってしまいました。

### 図5 一般会計歳出予算の経費別推移



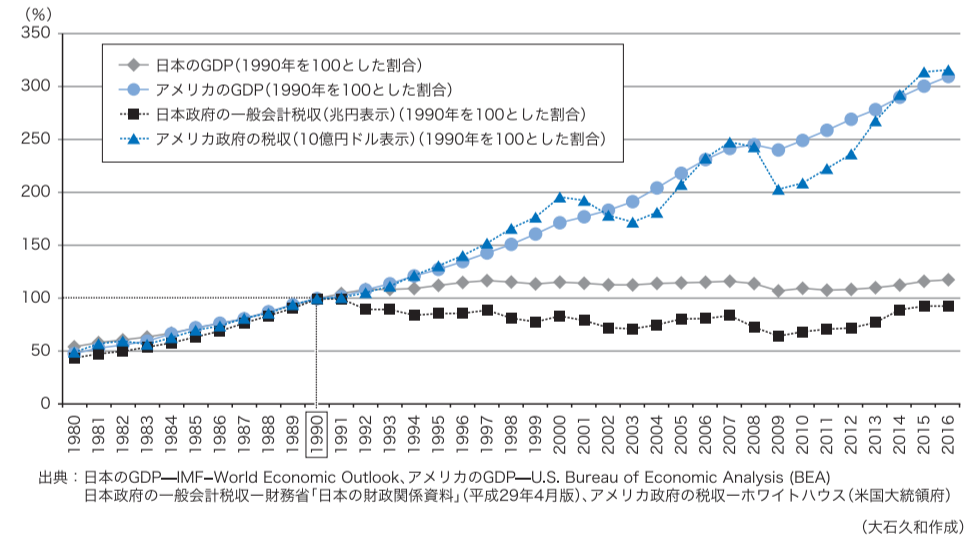
### 図6 主要先進国の公的資本形成(公共事業投資)の推移



### 図7 一人当たりの名目GDP(USドル) 為替は各年ごと

順位	国	1995年	2015年	1995年比
1位	ルクセンブルク	51,200	102,000	1.99
3位	日本	42,500	55,800	1.98
6位	ドイツ	31,700	43,800	2.06
10位	アメリカ	28,800	41,000	1.29
12位	フランス	27,900	37,700	1.35
18位	イギリス	21,300	22,200	1.04
22位	日本	32,500	18,000	0.76
26位	イタリア	20,600	29,900	1.45
32位	ギリシャ	13,000	18,000	1.38

### 図8 日米の名目GDPと税収の推移



## 活動記録 (H30年7月~H30年10月)

- H30.7.1 緊急議会全員協議会 於 市役所本庁舎
- H30.7.2 総合防災訓練 於 六日町小学校
- H30.7.3 平成30年南魚沼市自衛隊協会総会 於 八百真
- H30.7.5 東北電力南魚沼電力センター懇談会 於 味の店 京
- H30.7.6 第13回雪の市議会議員南魚沼～雪を活かした食と観光と産業～ 於 南魚沼市民会館
- H30.7.7 自民党大和支部設立50周年記念大会 於 さわらび
- H30.7.10 東泉田ふれあいサロン納涼会 於 折立温泉 さかえや
- H30.7.11 一會 於 萬盛庵
- H30.7.12 南魚沼市議会広報編集特別委員会 於 市役所委員会室
- H30.7.13 (一社)小千谷法人会青年部役員会 於 魚沼市 響
- H30.7.17 兼統公祭り役員 於 八坂神社
- H30.7.18 兼統公祭り役員 於 兼統公通り
- H30.7.19 南魚沼市大煙火大会役員 於 魚野川河川敷
- H30.7.20 兼統公祭り後片付け・清掃 於 銭淵公園・河川敷他
- H30.7.21 松原良道県議ゴルフコンペ 於 十日町カントリー
- H30.7.25 第2回直江兼統公伝世館及び太鼓橋改修検討会議 於 ふれ愛支援センター
- H30.7.26 第1回六日町商工会福利厚生委員会 於 六日町商工会
- H30.7.26 六日町高等学校後援会役員会・総会及び同窓会役員会 於 六日町高等学校
- H30.7.26 県関係 六日町地域公共要望会 於 ふれ愛支援センター
- H30.7.28 ゆきくに大和病院構想検討会 於 ゆきくに大和病院健友館
- H30.7.30 南魚沼市議会会派合同研修会 於 南魚沼建設業会館
- H30.8.1 南魚沼警察署との勉強会 於 南魚沼警察署
- H30.8.2 市長懇談会 於 松原良道事務所
- H30.8.2 第12回南魚沼市大和地域市民ゴルフ大会 於 越後ゴルフ倶楽部
- H30.8.3 六日町四交会 於 金誠館
- H30.8.5 井口一郎氏旭日小授章受賞祝賀会 於 越路荘
- H30.8.6 中越地区市議会合同議員研修会 於 見附市文化ホール
- H30.8.8 信友会 於 金誠館
- H30.8.9 直江兼統公伝世館検討部会議 於 北庁舎
- H30.8.9 議員全員協議会 於 南魚沼市議事堂
- H30.8.10 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会 於 湯沢東映ホテル
- H30.8.11 11会 於 萬盛庵
- H30.8.13 直江兼統公伝世館及び太鼓橋改修検討会議 於 北庁舎
- H30.8.14 東泉田区十所宮祭典 於 十所宮境内
- H30.8.17 魚沼基幹病院に係る意見交換会 於 魚沼基幹病院講堂
- H30.8.18 平成30年度新潟県立六日町病院高等学校同窓会 於 越路荘
- H30.8.19 源義経公伝説の村 君唄聖観世音菩薩33年に当り御開大祭 於 君唄観音
- H30.8.23 雪国青年会議所OB納涼会 於 木の芽坂
- H30.8.24 魚沼学受け入れ 於 南魚沼市役所
- H30.8.25 会派研修会 於 本庁舎
- H30.8.25 政治学校 於 自民党
- H30.8.28 新潟県市議会議長会議員研修会 於 アオーレ長岡
- H30.8.29 直江兼統公伝世館検討部会議 於 本庁舎
- H30.8.30 紫金会 於 紫金城
- H30.8.30 六日町商工会六日町支部 於 六日町商工会
- H30.8.30 第3回社会教育委員会 於 市民会館
- H30.9.1 上越魚沼地域振興快速道路建設促進フォーラム 於 越後妻有文化ホール「段ろろ」
- H30.9.3~21 9月定例議会 於 南魚沼市議事堂
- H30.9.6 南魚沼政治経済研究会 於 萬盛庵
- H30.9.7 雪国観光圏事業説明会 於 市役所大会議室
- H30.9.7 極真会館新潟南道場後援会納涼会 於 金誠館
- H30.9.10 新潟県農業交流センター魚沼支部外国人技能実習生制度講演会 於 金誠館
- H30.9.13 秋の大吟醸会—魚沼を想い考える— 於 八海山泉ヴィレッジ
- H30.9.15 ぶどう収穫祭とワイン祭り 於 アグリコア越後ワイナリー
- H30.9.19 紫金会 於 金誠館
- H30.9.21 会派研修会 於 バッファロー
- H30.9.22 公益社団法人日本青年会議所北陸越地区新潟ブロック協議会第48回ブロック大会 於 小千谷市民会館
- H30.9.25 六日町商工会六日町支部 於 六日町商工会
- H30.9.26 魚沼同友会 於 金誠館
- H30.9.28 新潟県議会9月例会 於 新潟県議事堂
- H30.9.29 新潟政治学校 於 新潟自由民主党会館
- H30.9.30 星野正剛お別れ会 於 坂戸城
- H30.10.1 会派勉強会 於 本庁舎
- H30.10.2 平成30年第57回中越地区社会教育研究集会 於 湯沢町公民館・湯沢学園
- H30.10.3 平成30年南魚沼市兼統公まつり実行委員会第2回総会 於 南魚沼市役所本庁舎
- H30.10.4 第2回ゆきくに大和病院構想検討会 於 ゆきくに大和病院健友館
- H30.10.5 南魚沼政治経済研究会 於 さかえや
- H30.10.9 議会広報編集特別委員会 於 市役所本庁舎
- H30.10.11 六日町商工会福利厚生委員会 於 六日町商工会
- H30.10.12 第80回全国都市問題会議 於 アオーレ長岡
- H30.10.12 南魚沼市コンテンツツーリズム推進協議会 於 味の店 京
- H30.10.16 議会広報編集特別委員会 於 市役所本庁舎
- H30.10.16 南魚沼市議会総務文教委員会 於 市役所本庁舎
- H30.10.17 第18回新潟県社会教育研究大会糸魚川大会 於 ビーチホールまがたま
- H30.10.18~19 坂戸市・南魚沼市友好都市交流会 於 坂戸市役所
- H30.10.19 環境省との懇談会 於 坂戸城
- H30.10.22 会派会議 於 本庁舎議事室
- H30.10.23 雪国青年会議所歴代理事長会議 於 金誠館
- H30.10.23 塚田一郎議員挨拶回り 於 南魚沼市内
- H30.10.25 石坂ひろし県政報告会 於 金誠館
- H30.10.26 六日町商工会永年優良勤続表彰及び役員表彰 於 木の芽坂
- H30.10.28 南魚沼市縦断駅伝 於 南魚沼市内
- H30.10.29 自民党六日町支部執行部会・総務正副会長会議 於 自民党六日町支部事務所
- H30.10.30~11.1 目黒哲也後援会役員会 於 金誠館
- H30.10.30~11.1 知寛特攻平和会館・鹿兒島市役所・桜島国際火山砂防センター・日南市役所・油津商店街